

# 土壌流失防止策学ぶ

甘楽と富岡、傾斜地の畑

## ホンジュラスから視察

中米ホンジュラスの「エル・カホン」ダム流域を管理する国立電

カ公社の農業普及員ら14人が7、8の両日、環境負荷の少ない農業



(68)が、斜面の土壌流失を防ぐため山側に立つて掘る技術を実演。刃先がくさび形の特製のくわを手に「これなら石が多くても掘れる」と話すと、普及員が興味深そうに使い勝手を確認した。

熱心に質問。秋畑地区の別のコンニャク農家を見学後、町職員から環境保全型農業への支援策を聞いた。富岡市の甘楽多野用

を流域で広めようと、甘楽町と富岡市の傾斜地の畑を視察し、環境保全型農業や土壌流失の防止技術を学んだ。国際協力機構(JICA)の技術協力プロジェクトの一環で、同町のNPO法人自然塾寺子屋が2日間の研修を企画した。

同町秋畑地区の山間部にある石積み段々畑では、地元のシイタケ農家、中野惣一さん

中野さん(中央)から甘楽町秋畑の傾斜地で農業技術を教わるホンジュラスの普及員

水土改良区や、丹生湖近くにある基盤整備した斜面の野菜畑も視察し、環境保全団体と意見交換した。